

静岡市市長選候補者

様

日ごろ静岡市の図書館について深いご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

さて、私たち「静岡図書館友の会」は2008年に発足し、以来静岡市はもとより県内全域に於ける図書館行政の発展を願い、提言やサポート活動をしている271名の会員を擁する団体です。

会の活動内容については、同封の資料をご覧ください。

静岡市の図書館は政令市の中でも利用者満足度の高いサービスを提供してくださっています。今後の図書館運営についても専門性と知的財産の継続が保障される直営での運営を是非継続して戴きたいと思っております。

今回、市長選を機会に、より明確な図書館行政についてのお考えをお示しいただきたく、公開質問状を提出させていただきました。

ご回答を今月末までに会員全員に送付するとともに、当会ホームページに公開させていただきたく、ご多忙の中大変恐縮ですが、3月23日までに、文書かメールでご回答くださいますようお願い申し上げます。

来る4月に行われます市長選でのご健闘を心からお祈り申し上げます。

2015年3月13日

静岡図書館友の会代表 田中文雄

〒420-0911 静岡市葵区瀬名 3-16-45

しずとも総務携帯 080-6910-9434

(月～金／10時～15時)

eメールアドレス

sizutomo2008@yahoo.co.jp

静岡市市長選候補者への公開質問状のご回答をお知らせします～回答到着順～

今後の図書館行政について下記の点についてのビジョンをお聞かせください。

1. 「自治体の文化のバロメーター」と言われる図書館ですが、静岡市の文化・教育行政に於いての位置づけについてお聞かせください。

高田都子氏・・・図書館は静岡市における文化活動にとって重要な施設です。それは市民の方のお話をお伺いして学びを深めるための場だということです。利用者の方の日々の生活・仕事のお話を引き出し、市民の学びに関するご提案ができる場所が図書館であると理解しています。

松浦敏夫氏・・・図書館は、情報提供施設と同時に、住民の読書推進、学習意欲、知的水準を支えることとあわせ、行政への住民参加が進む中、必要な情報収集や意思決定を支える重要な役割を担っています。静岡市の図書館は、人口一人当たりの図書貸出し数、蔵書数は政令市の中でもトップクラスという水準を保ち続けています。しかし、図書館法で定められている調査研究支援、レファレンスサービスをさらに充実させ、社会教育施設としての役割を果たすことが求められています。

田辺信宏氏・・・文化・教育行政の中核であります。教育現場との連携を更に強化し、小中学校の教育環境のレベルアップのため、その機能を充実してまいります。また、市長として総合教育会議を主宰し、リーダーシップを発揮してまいります。

2. 図書館運営に必要な専門性と継続性を保障するために直営での運営を継続して戴けますか？

高田都子氏・・・直営・民間委託という外形上の区分ではなく、市民の学びの場として資する図書館を市民全員で創り上げて、人が集まる魅力的な図書館にしていきます。まずは、現場における専門性を高めて頂くために、現場の第1線で活躍している職員が元気に明るく何が出来るのかを第1優先に考えていきます。市民からの支持を受ける図書館であり続けることが何よりの継続性の保証につながるものと理解しています。

松浦敏夫氏・・・地方自治法の改正により、全国的に指定管理者制度や民間委託が導入される中、静岡市も管理運営について議論になりましたが、図書館協議会や図書館友の会の皆さんの奮闘により、直営を堅持することができました。市民が本を読む楽しみ、知る喜び、学ぶ権利を保障する図書館は直営でこそ責任が果たせると考え、今後も直営を堅持します。

田辺信宏氏・・・図書館サービスの根幹は司書が担うものであります。人事異動の配慮や研修強化により、職員の専門性を高め地域事情に精通する職員の確保等に努めてまいります。

3. 静岡市の図書館が謳っている「静岡市の図書館の使命、目的とサービス方針」（平成16年更新）は、私たち市民の誇りとするものです。この具現化のために、どのような図書館を考えていますかお聞かせください。

高田都子氏・・・知る自由、くらしやまちづくりへのお役立ち、学びを通じた個性の育成など、使命、理念について共感いたします。今後は学びを深めたい利用者の人々に対する相談・提案など利用者の方のニーズを掴む人材が大切になると思います。

松浦敏夫氏・・・図書館の目指すべき姿勢が謳われ、常に指標とすべきものと考えます。静岡市の図書館は、図書館司書が非常勤に置き換えられ、5年の雇い止めにより、能力や意欲のあるベテラン職員がやめざるを得ない事態が続いています。能力の損失であり、継続性が保障されていません。今後は正規の図書館司書を増員させ、長く勤めることができるように改善し、経験や能力を活かすことが図書館サービスの向上につながると考えます。また、蔵書数をさらに充実させるため、予算を増額させます。

田辺信宏氏・・・市民に等しく図書館サービスを提供することは、市長の責務だと考えております。年齢や障害の有無などに関わらず、市民が読書に親しむことができるよう、市立図書館、学校図書館、生涯学習施設やボランティアの皆様などとの連携により、市民の読書環境の向上に取り組んでまいります。

4. 当会では、利用者の声として「静岡市立図書館運営についての提言書」を3月11日市長に提出しました。図書館も市民も共に成長でき、地域づくりと文化の核となる持続可能な図書館の理想のあり方を提言したと思っています。この提言書についてどのようにお考えですか？

高田都子氏・・・図書館司書としての専門性を高めることを前提とし、利用者であるお客様とのコミュニケーションを図ることができる人材を積極的に育成します。市民から支持される図書館であり続けることが重要です。

松浦敏夫氏・・・これまでも、図書館の直営を守り、図書館サービス向上に向け、粘り強く学習会や、読み聞かせなど図書館を支える活動に取り組まれてきた貴会の活動に敬意を表します。その活動に基づいた提言書だと理解しています。

提言の3項目は図書館サービスの担い手である図書館司書の待遇を改善させるものです。定員管理により図書館司書が非常勤に置き換えられてきましたが、正規職とし、雇い止めをなくし、能力を存分に発揮していただくべきです。また、直営は堅持すべきです。

田辺信宏氏・・・「静岡図書館友の会」の活動に敬意を表します。図書館の直営体制を維持し、利用者のサービスの向上に努めてまいりますので、今後におきましても、ご協力をお願いするものであります。

以上

静岡市市長選候補者

様

このたびはご多忙の中、当会の公開質問状に丁寧にお答えいただき本当に有難うございました。
お3人からいただいたご回答は到着順にまとめましたのでお届けします。また、会員や関係者にご報告し、当会ホームページにもアップさせていただきます。
ご健闘とご健康を心よりお祈り申し上げます。

2015年3月28日

静岡図書館友の会代表 田中文雄

連絡先

しずとも総務携帯

080-6910-9434

(月～金/10時～15時)

eメールアドレス

sizutomo2008@yahoo.co.jp